

岐大通 2011



2011 J.League Division2 第03節 FC東京戦

8/7(日) 18:00~ @岐阜メモリアルセンター長良川競技場

ハンジェはなぜベンチ入りしてたんだろう？ 岐阜0-栃木【第2節】

FC岐阜は長良川で栃木と対戦し、0対1で惜敗。あと1点が取れないのが岐阜の課題。今こそサポーターが一丸となって戦う時。FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

両手を突き上げかけたその瞬間、スポンサー様の看板に向かって転がっていくボールを見る目が、点になっていたような気がする。押谷の走り込むコースから、ラストパスのタイミングを見た時点で「同点ゴール」を信じて疑わなかったのだが……。あの場面を含めて、この試合で3回迎えた決定機をことごとく決められなかったこと、特に前半のコントロール・ショットが枠に飛ばなかったのが残念だったね>優大。

シュート数は、岐阜の8本に対して栃木が7本。双方とも詰めが甘い内容だったが、決定的なシュートは栃木の方が多かった。前半のリカルド・ロボ、後半の河原のシュートは恭平がホントによく止めてくれた。前半が0-0で終わってくれて、思わずホッとした自分に苦笑い。昇格争いをしている栃木だったが、さほど好調とは思えなかったし、つけいるスキは十分にあった。少なくとも「一点取ればいいや。」と流しているようには見えなかった。もしかしたら、前節、前々節の残像がそう思わせたのかもしれないが、あと、主審の判定については異論はない。栃木のPKについては、狙ったパスから完全に抜け出した場面で後ろから引っ掛けた（引っかかった？）のだから、取られてもやむをえないケース。反対に押谷が倒された場面は、ギリギリでボールをキープしての懸命なドリブルが、逆にいっぱい見えて笛が吹けなかったのかもしれない。こちらには厳しい判定だったが、誤審とまでは言えないだろう。

そんなことより納得できないのが川島の使い方。負けてる場面での投入。こんな成績でもというか、それだからこそホームでの勝ちが重要。なりふりかまわずの「大作戦」。川島、西川、洗一のトリプルタワーへの放り込みだと思ったのだが……。極端な話だけど、0-1で負けるのも0-2、0-3で負けるのも現在の状況では何の変わりもないんじゃないか？それでこそ、キックの精度が高い永芳を入れた理由になるわけで。確かに光のコンディションは万全じゃないのかもしれないが、代わりに川島を入れるというのは「これ以上失点するな」ということなのか？まだまだ、同点・逆転の目がある中で後ろを固めてどうするんだろう？それとも、川島に橋本の役をやれ、とでも？だったら、ベンチにもっと適材がいたでしょう？なんで、ハンジェを使わなかったの？90分は保たないとしても、短い時間なら使えると判断してのメンバー入りじゃないのかな？シーズンも半ばを過ぎようとしているのに、連携や精度が上がるどころか、ますます混乱を深めていくような試合の連続。やりたいサッカーとできるサッカーの判断もつかず、戦術の意図もつかめないんじゃない、やってる選手が気の毒で仕方がない。

とはいえ、選手諸君ももっとシュート練習してください。最近では毎回書いてるかもしれないけど、枠に飛ばなきゃ何ともならない。（そりゃ、たまには枠外に飛ぶハズのシュートをわざわざオウンゴールしてくれることもあるけどね）

実戦を意識した練習が足りないんじゃないかな？と思わせるようなシーンは、もうおなかいっぱいなんだよ。そろそろゴールを決めてください。もう、3試合も見えていません。（ぐん、）

すみません、ちょっと思うところがあって。

「Jリーグ昇格1年目の2008年も同じように勝てない時期が続いたけど、応援をやめようなんて思った事がなかったのに、今年はシーズンが進めば進むほど積極的に応援しようという気持ちで薄らいでゆくのは何故なんだろう？

2008年は上を目指そうとする気持ちと夢があったから応援が続けられた。しかし今年はどうだろう？「子どもたちに夢を！」「2012年ぎふ国体の年にJ昇格！」何て大風呂敷広げたわりには集客に繋がられるような積極的なイベントを打つ訳でも無い。昨シーズン終了後に突然監督交代したが、木村監督に補強やバックアップが行えず「金がないから補強はできない」「募金でするのでお金をください」と記者会見……。ふざけるな、いい加減にしろ！！2008年から3年間何を学び、何をしてきたんだ？

「お金が無い」は聞き飽きた。クラブの未来のために何をすべきか考え、行動して欲しい。集客・補強ともにこのまま無策のまま終わるのならば、FC岐阜の未来のために行動できる人にクラブ運営の中心を譲るべきではないだろうか。（kamihira）

シーズン開始前のある程度の覚悟はしたし、開幕の大分戦を観たときにしっかり覚悟したつもりだったけど、まさかここまで「成長しない」姿を何ヶ月も見続けることになるとは、思ってもみなかったです。まだまだ修行が足りません。

もしかしたら今西社長も服部GMも「今年はどういう（どうしようもない）チーム状態にしたい」と思ったたのではないだろうか？でなければ、今西さんほどの方が、この状態を放置するはずがないもの。

幸いにして今年はどうなにか酷い戦績でも降格はないし、一度チームを内部から粉々に破砕して、クラブ内の「甘え」の要因をすべて排除して、来シーズンに臨むつもりじゃないだろうか？でも、スポンサー様の手前、そんなことは表明できないし…。そんな風に自分で納得する『努力』をしてみます。（吉田 鎔造）

today's guest

FC東京

2010 J1 第16位
初対戦

2011J2 順位表 第2節 変則

勝点、得失点差、得点、失点、岐阜戦の戦績（岐阜から視点）

1 徳島	37p	+14	30	16	H	
2 FC東京	35p	+17	28	11	A	
3 千葉	35p	+12	30	18	A	
4 栃木	35p	+12	26	14	H	
5 北九州	30p	-1	18	19	H	
6 札幌	28p	+2	16	14	H	A
7 鳥栖	27p	+9	21	12	A	
8 熊本	26p	-2	15	17	A	
9 東京V	25p	+11	33	22	H	A
10 湘南	25p	-4	18	22	H	
11 大分	24p	-2	20	22	H	
12 愛媛	24p	-4	23	27	A	
13 草津	23p	-8	22	30		
14 水戸	22p	-4	20	24	H	
15 岡山	20p	-9	20	29		
16 鳥取	19p	0	19	19	A	
17 京都	19p	-3	20	23	H	
18 横浜FC	17p	-5	17	22	A	
19 富山	17p	-12	15	27	A	
20 岐阜	8p	-23	11	34	---	---

次回 HomeGame

第2節 ジェフ千葉戦

8/13(土) 18:00
@岐阜メモリアル
センター長良川競技場

投稿募集！

gidaidohr@hotmail.co.jp

FC岐阜大好き通信（岐大通）

8/7号

編集発行：『岐大通』製作委員会

今号の製作担当：ささたく&吉田鎔造

編集子より

ご愛顧いただきありがとうございます。
今シーズンも「全ホームゲーム」での発行を目標にしますので、よろしくお願ひ致します。

たしか相手は10人になった...んだよね？ 札幌1-0岐阜【第2節】

FC岐阜はアウェイで札幌と対戦し、0対1で惜敗。
1人少ない相手に何故勝てない。あと1点が取れないのが
岐阜の課題。今こそサポーターが一丸となって戦う時。
FC岐阜頑張れ！（ハマッチ）

岐阜よりはずっと涼しいし、湿度もなく過ごしやすいと
はいえ、やはり札幌でも夏の日中は暑い。陽が照りつける
厚層での15時キックオフの試合は、体力と気力を消耗す
る厳しいアウェイになるだろう。しかし、岐阜の選手の方
が暑さに慣れているはずだから、体力勝負で競り勝てれば...
とっていた。

ところが、だ。試合序盤は互角だったものの、札幌に徐々
に中盤を支配され、ほとんどと言って良いぐらいにセカン
ドボールを奪われてしまうので、必然的に札幌ペースに。
記録を見てみると、前半のシュート数は5 - 2と岐阜の方
が上回ったようだが、現地での感覚では、決定機は札幌の
方が多く、岐阜のシュートは残念ながら僕には得点の匂い
がしなかったからか、札幌優位の前半だったように感じた。
後半になると、早々に札幌はFW内村が警告2枚で退場にな
り、10人に。これで優位に立てる...と思ったのだが、札
幌の選手たちは更に集中して、必死に走って数的不利をカ
バーするようになり、こちらが1人多いとは思えないよう
な試合展開。それでも終盤には札幌の選手たちの足が止ま
りだしたのだけれど、試合終了5分前のセットプレーで、
交替で入ってきたばかりの札幌FW止原をゴールの真前で
フリーに追いつき、ヘディングを決められて失点。岐阜
も同点に追いつこうとするが、力およばずに試合終了。こ
れで今季2度目の4連敗となってしまった。

札幌としては数的不利の状況のなかでは「コレしかない」
という得点・勝利だったろうし、岐阜としては「絶対に気
をつけなければならない」展開での失点・敗戦だった。最
悪の展開に、試合終了の笛を聞いた後、岐阜サポーターの
多くは、挨拶に来た選手たちを沈黙で迎えた。僕もその1
人だった。何とも言えない悔しさややるせなさを噛み締め
て、立ち尽くして選手たちを見つめていた。

ここ数試合をみても、個人的には守備は（まだ危なっ
かしい場面も多いのだが）それなりに機能しているのかな
、と思う。それよりも深刻なのは攻撃だろう。4試合無得点。
今日の試合もシュート8本（前半5本、後半3本）。むや
みにシュートを撃てばいいってものでもないが、それでも、
10人の相手に後半3本しかシュートを撃てない（しかも、
枠に飛んでいないんじゃないか？）というのは、問題あり
と言わざるを得ない。

「岐阜はショートカウンターが持ち味」と言われているよ
うだが、今は、ボールを待ったり無意味なバックパスをし
て時間をかけてしまったり、あるいは精度の悪いパスで、
せっかくの持ち味の、前への勢いを自分たちで殺している
ことが多いような気がする。また、ボールを持った選手へ
のフォローや押し上げが弱く、孤立してボールを奪われる
ことも多いし、自分で仕掛けたりシュートが撃てる場面
でも他人任せにしている場面も目に付いてしまう。そして、
勝利への執念を見せて最後までひたむきに走るというこ
とが、あまりできていない。特に、相手に奪われたボールを
必死に追いかけることが。

で、何より、こんなコトは指摘されるまでもなく選手たち
（そして監督やコーチ）は分かっているはずなのだ。では
何故か？と考えると、どうしても「選手たちが自分のプレ
ーに自信を失ってしまっているから」と結論づけてしまう。
けれど、自信を取り戻すには、（もちろん監督やコーチの
手腕も問われるが）選手たち自身が勇気を持ってプレーし
て、結果を出すしかないのだと、僕は思う。

だから、選手には伝えたい。失敗をおそれず、自分や仲間
を信じて（時にはお互いの意見をぶつけ合って）、どんな
相手にでも勝利の執念を見せて、最後まで走りきって戦い
抜いて欲しい。その姿に僕らが勇気を貰い、スタジアムが
一体となった時に、勝利は訪れるものだと思ってる。
（ささたく）

3年連続の札幌遠征。春、秋、夏と季節を始め、いろい
ろ堪能できる札幌。いいところなんだけど、ただ試合の結
果と、オマケに内容がね.....（苦笑）。
ホントにいったいどうしちゃったんだろう？もしや「ゴール
禁止令」とか出てますか？「ゴールしたら罰金」とか言
われてますか？相手のGKに、ほとんど汗をかかせてませ
んよ？栃木戦同様、上位につけてるとはいえ、札幌も決し
てイイ出来ではなかったように思うのですが。後半早々10
人になりましたが、前半に撃たれたシュートは2本です。
トータルでは8対5。こちらの方が多いいのですが、とて
もそんな感じはありません。枠に飛んだのありましたっけ？
そりゃあ、1人少ない相手に勝利どころか勝ち点1すら奪
えなかったのは悔しいし、悲しいです。けれども、10人
になることで、意思や戦術が明確になり、より一体となる
ことによって、結果を出すことがあるのも承知しています。
ただ、「負けたことだけ」が残念なのではありません。札
幌は1人少なく、それもFWの選手がいなくなったことによ
って守備的になりました。でも、終始ひくこもってカギを
掛けてたわけではないのです。時にカウンターを仕掛け、
セットプレーからの得点を狙い、背の高いDFの選手も前
線が上がってきます。そこに何度かチャンスが生まれまし
た。ただでさえ、人数が少ない上に前掛かりになっていた
札幌の陣内には広いスペースが空いています。そういった
スペースを縦横無尽に駆け回り、相手をかき回してゴール
を決めるのが、染矢や正吾、そして押谷の十八番だったハ
ズ。それなのに.....。まっすぐ縦へ進めるべきボールは横
に出て、走り込むラインと供給されるパスは微妙にズレて
しまうのはなぜなのでしょう？結果、せっかくの好機もシ
ュートにすら持ち込めず。セット・プレーも似たようなも
の。奪ったCKは8本。しかし、キッカーは何を意図して、
どこを狙って蹴っているんでしょう？そもそも、サインや
約束はあるんでしょうか？合わせるのが難しければ、W杯
決勝戦の澤と宮間のように言葉で直接打ち合わせたらイイ
のに。ついつい、そんなグチが出てしまいます、ヤレヤレ。
もちろん、選手たちも歯がゆい思いをしているでしょう。
試合後の挨拶で、いつもよりスタンドへ近寄ってきくれた
顔には、そういう気持ちににじみ出ていたような気がしま
す。座り込んでいたために、数人の選手の顔しか見えませ
んでしたが.....。

それから、負傷直後にもかかわらず先発した押谷ですが、
やはり状態は思わしくなかったんでしょうか？コースを狙
った左足のシュートが大きく枠をはずしたりするのを見
ると、やはり90分こなせる状態ではなかったのかも？
この後訪れる「ダブル・ビッグマッチ」と銘打たれたホー
ム連戦。相手はいっそう厳しくなりますが、少しでも多く
状況を改善して臨んでもらいたいと思います。（くん、）

ALADDIN

何も無い店だけど・・・
心の花が咲く・・・
何も無い店だけど・・・
心癒される・・・
忘れかけていた喫茶店がある

岐阜市昭和町3丁目（木ノ本公園東）

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から
徒歩3分。

休：日曜日（今日はお休みです）

Living in Woods

本庄工業株式会社

<http://www.honj-woodream.com/>